

## 平成23年度 南加賀地区 タウンミーティング

# 子どもたちの生きる力を育むつどい

### — 元気・意欲・学びを引き出す生活習慣 —

#### 平成23年度タウンミーティングテーマについて

石川県教育委員会は、子どもたちの学力向上を進める上での方向性を示す「いしかわ学びの指針12か条」を作成しました。

この指針には、学校が取り組む内容はもちろんですが、家庭や地域のみならずと連携して進めていく内容が含まれています。

今回の小松教育事務所管内タウンミーティングでは、その中の、指針7条「よりよい学習習慣，生活習慣」、指針9条「家族とのコミュニケーション」に焦点を当て、以下のプログラムで開催いたしました。

### 当日のプログラム

◇ 開会挨拶 13:30～13:40

石川県教育委員会 小松教育事務所長 崎山 由樹夫

◇ 報 告 13:40～14:00

#### 「いしかわ学びの指針12か条」と学力向上への取組

小松教育事務所 指導主事 宮本 徹

◇ 実践発表 14:00～14:20

#### 「見直そう！親子のコミュニケーション」

小松市PTA連合会母親委員会



◇ 講 演 14:35～16:00

#### 「子ども達の元気・意欲・学力を伸ばす基本的な生活習慣」 ～家庭，学校，地域の連携で子ども達の生きる力UP～

富山大学人間発達科学部 教授 神川 康子 氏



◇ 閉 会 16:00～16:10

# 当日の内容



## 【報告】

「いしかわ学びの指針12か条」の推進に向けて  
小松教育事務所 指導主事 宮本 徹



11月5日(土)午後、小松市第一地区コミュニティセンターにおいて、小松教育事務所管内の学校・家庭・地域の方々約190名が集い、実践報告や講演を通して子どもたちの生きる力を育むための生活習慣について、共に考えました。

**【実践発表】指針9条「家族とのコミュニケーション」**  
「見直そう！親子のコミュニケーション」  
小松市立学校PTA連合会 母親委員会

学力調査の結果から、児童生徒の学習習慣・生活習慣と学力の相関についてデータをもとに報告しました。

小松市内の8校の小学5・6年生とその保護者からのアンケートをもとに、親子の会話・コミュニケーションについて考察と実践事例が紹介され「親子のコミュニケーション5か条」が提案されました。

## 親子のコミュニケーション5か条

1. 子どもの話は最後まで聴く
2. 本音を言葉に出して伝える
3. 距離感が大切
4. 心からの言葉ではめる
5. 夢を語ろう



**【講演】指針7条「よりよい学習習慣・生活習慣」**  
「子ども達の元気・意欲・学力を伸ばす基本的な生活習慣」  
～家庭、学校、地域の連携で子ども達の生きる力UP～  
富山大学人間発達科学部 教授 神川 康子 氏



基本的な生活習慣と学力との関係を、眠りと脳の健康という視点から見つめ、現代の子ども達の生活課題から、生活習慣改善と睡眠指導の大切さについて話していただきました。

睡眠・挨拶・コミュニケーションについて、学校PTAで話題として取り上げ、PTAが連携して健やかな子ども達の成長を育んでいきたいと思えます。



睡眠・挨拶・コミュニケーションについて、学校PTAで話題として取り上げ、PTAが連携して健やかな子ども達の成長を育んでいきたいと思えます。

学習習慣・生活習慣と学力の関連をあらためて確認した。学級懇談会等で保護者の方にお知らせし、見直してもらおう機会をとりたい。

睡眠不足にさせていたのは、私の私自身だったと反省しました。子どものためにもまずは、生活習慣を整えることから始めようと思います。

家庭でコミュニケーションをとり、上手に子どもの意欲を持たせてあげると、学力を伸ばすこともできる。自分の家庭でも実践していければと思いました。

## ★参加者からの意見・感想

家庭でコミュニケーションをとり、上手に子どもの意欲を持たせてあげると、学力を伸ばすこともできる。自分の家庭でも実践していければと思いました。